

上北地域県民局地域農林水産部 十和田家畜保健衛生所
上十三地区家畜衛生推進協議会
(一社)青森県畜産協会

0176-23-6235 (FAX 0176-23-3044)
0176-25-2362 (FAX 0176-24-3888)
017-722-4331 (FAX 017-731-1196)

豚流行性下痢 (PED) 対策の再徹底を!

豚流行性下痢は今年度の新規発生はまだ確認されていません。しかし、過去三年間では、**気温の低下する時期から本病の発生が増加**しています。今一度、防疫対策を見直しましょう!

①飼養衛生管理の徹底



踏込消毒槽の設置



豚舎専用衣類・長靴の設置



豚舎の洗浄・消毒



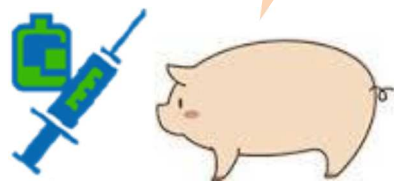
入場する車両の消毒

②ワクチン接種のポイント

PEDワクチンの目的は母豚に接種し、多量の抗体を含んだ乳汁を哺乳豚が飲むことで発症を低減させることです。よりワクチン効果を発揮するために次の点に注意しましょう。

①適切な用法でのワクチン使用

妊娠豚に分娩2ヶ月前と1ヶ月前に2回接種する



④継続的なワクチン使用

ブースター効果により再発リスクを低減

②健康管理をしっかりと

豚舎の洗浄消毒を徹底し、母豚のストレスを減らし常に哺乳できる環境を整える



豚舎の消毒

③衛生的な環境を

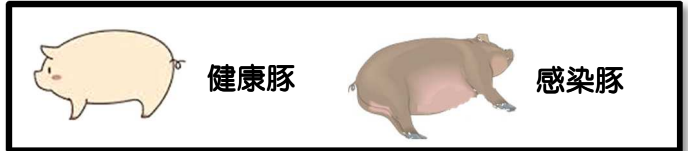
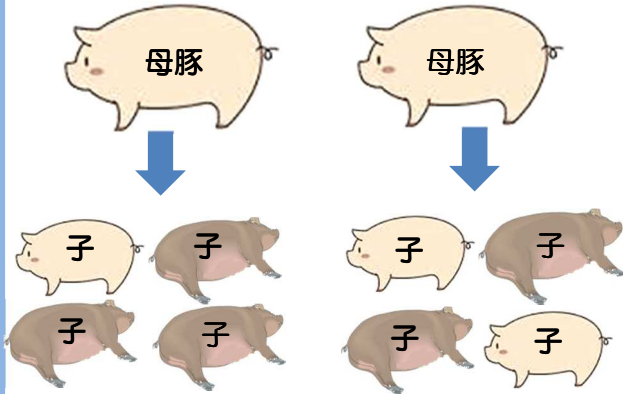
排泄物をこまめに処理し子豚への感染を防ぐ

③早期通報の徹底

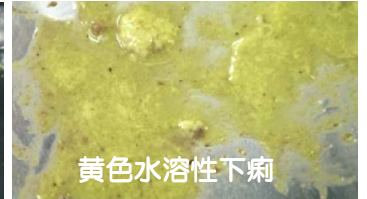


農場内で次に示す症状を発見した場合には、**直ちに家畜保健衛生所**に通報を！

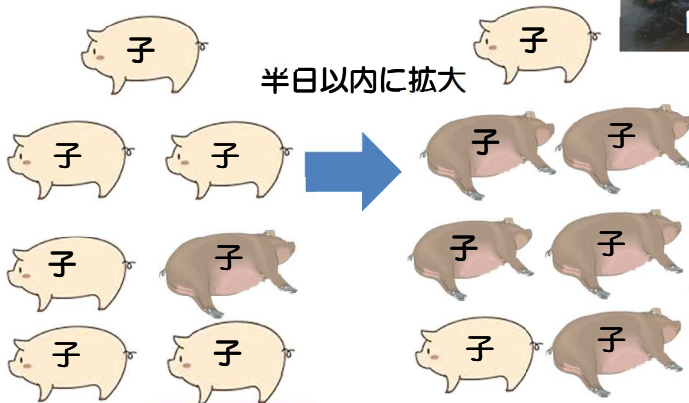
①複数豚での発症



複数の繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち、**半数以上が水様性下痢、嘔吐又は死亡**した場合

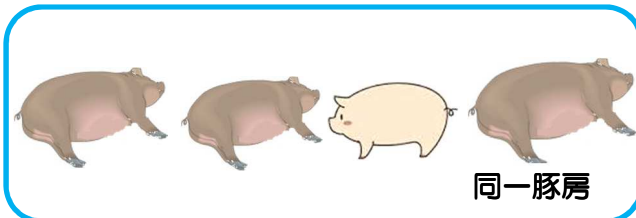


②症状の急速な拡大



同一繁殖母豚が分娩した哺乳豚のうち、1頭以上が水様性下痢、嘔吐又は死亡し、**半日以内に他の哺乳豚に同一症状が拡大**した場合

③母豚・離乳豚・肥育豚での発症



同一飼養区画内で**複数の繁殖豚又は肥育豚**（離乳豚も含む）が、**食欲不振、下痢（軟便から水様性）又は嘔吐**を呈した場合

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページアドレス: <http://www.applenet.jp/~towada-kaho/>